

防虫ネットの被覆によるリンドウの生育促進効果

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き - リンドウ - 作型・栽培型、病害虫防除

2 担当者

矢島 豊・山口繁雄・鈴木安和

3 要旨

防虫ネットの被覆による虫害の抑制効果は、他の作物で普遍的に認められている。しかし、防虫ネット内の生育反応は作物ごとに異なることから、リンドウにおけるネット被覆の影響を調査した結果、ネット被覆によるリンドウへの生育促進効果が明らかになった。

- (1) フラワーネット用支柱などを利用し、簡易な防虫ネット被覆を行う。本試験では、高さ1.5m×幅2.4m×奥行き10m(2うね連結)とした(写真1)。
- (2) 防虫ネットの目合いは0.4mmとし、被覆期間は定植時もしくは萌芽前から茎葉枯れ上がり時までとする。
- (3) 防虫ネットの被覆により、越冬芽の充実(株養成の促進)や生育量の増加などの生育促進効果が得られる(表1,2)。
- (4) 防虫ネットの導入は、定植年の幼植物体が虫害に弱い点と、被覆するリンドウのサイズおよび株養成効果を勘案すると、定植年に最大生育量に合わせてうね毎に小トンネル被覆とすることが効率的である(図1)。
- (5) 防虫ネットの被覆により、リンドウ栽培における主要な害虫であるアブラムシ類、スリップス類およびリンドウホソハマキなどの外部からの侵入を抑制できる。

表1 越冬芽の充実効果

試験区	越冬芽数(本/株)			越冬芽径(mm)				
	1年生株		2年生株	しなの3号 最大	ふくしまみやび 最大		3番目	5番目
	しなの3号	みやび	しおん		最大	3番目		
0.4mmネット	12.5 * n.s.	27.0 n.s.	22.6 * n.s.	6.6 n.s.	11.2 * n.s.	10.0 * n.s.	8.8 * n.s.	
露地	9.2	26.8	17.8	6.1	9.8	8.5	7.5	

t検定 : * = 5%水準で有意差あり、n.s.=有意差なし

表2 切り花品質の向上効果(ふくしまみやび、2年生株)

試験区	切り花長(cm)	花段数(段)	茎径(mm)	出荷規格別割合 ¹⁾ (%)				
				2L	L	M	S	規格外
0.4mmネット	83.6 * n.s.	5.9 * n.s.	4.2 n.s.	27.8	38.9	30.6	2.8	0.0
露地	77.3	5.6	4.2	4.7	43.5	31.8	20.0	0.0

t検定 : * = 5%水準で有意差あり、n.s.=有意差なし

1) 出荷規格 : 2L=90cm以上+5段、L=80cm以上+5段、M=70cm以上+4段、S=60cm以上+3段

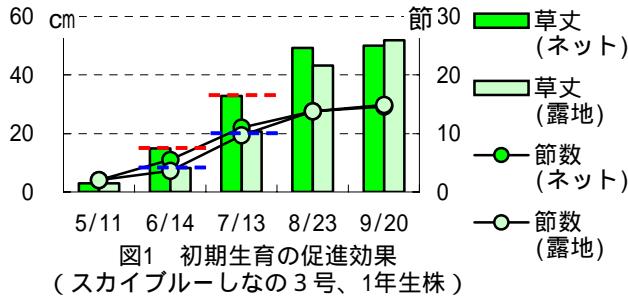


写真1 防虫ネットの被覆方法の例

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18～20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2006～2008)